

## 飛躍する北米・中米事業

1975年、Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. (KMM) リンカーン工場で、日本の二輪・自動車メーカーとして初の米国生産を開始したカワサキ。

今日では、米国内に5つの生産拠点を有し、オフロード四輪車、汎用ガソリンエンジン、パーソナルウォータークラフト、油圧ポンプ、鉄道車両、航空機コンポーネントの製造を行っています。

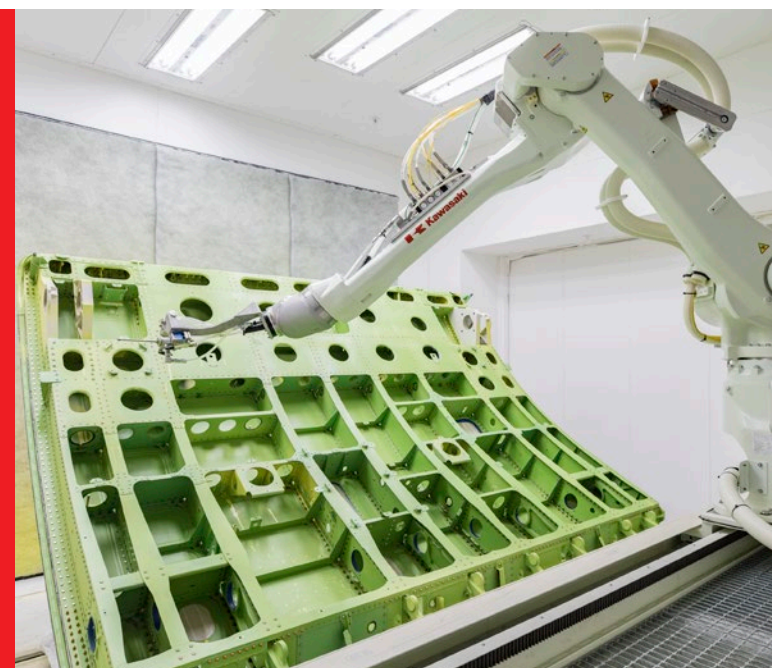
さらに、オフロード四輪車の北米市場での旺盛な需要に対応するため、メキシコに新たな生産拠点Kawasaki Motores de Mexico S.A. de C.V. (KMX) を建設中です。



- 1 Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Lincoln Plant  
●生産品目：ATV (四輪バギー車)、RUV (レクリエーション・ユーティリティ・ビークル)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト「ジェットスキー」、鉄道車両、航空機コンポーネント
- 2 Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Maryville Plant  
●生産品目：汎用ガソリンエンジン
- 3 Kawasaki Motors Manufacturing Corp., U.S.A. Boonville Plant  
●生産品目：汎用ガソリンエンジン
- 4 Kawasaki Precision Machinery (USA), Inc.  
●生産品目：油圧ポンプ
- 5 Kawasaki Rail Car, Inc.  
●生産品目：鉄道車両
- 6 Kawasaki Motores de México S.A. de C.V.  
●生産品目：オフロード四輪車

### 航空宇宙システム

KMMリンカーン工場では、2017年よりボーイング777X用貨物扉の製造を行っています。当社として初めて米国に設置した航空機用部品製造ラインは、繊細かつ正確な塗装が可能な自社製塗装ロボットや、打鉄の対象範囲が拡大したオートリベッター (自動打鉄機) など、最新鋭の設備を導入して自動化を推進しています。航空宇宙システム事業はコロナ禍の影響から脱し、新たな成長軌道を描き始めています。



### パワースポーツ&エンジン (カワサキモーターズ)

カワサキモーターズでは、現在、メキシコ現地法人 (KMX) において、生産設備の新設を進めており、2024年より北米向けオフロード四輪車の生産を開始します。オフロード四輪車に加え、パーソナルウォータークラフト (ジェットスキー®) や汎用ガソリンエンジンなどのコンシューマー製品を生産する北米・中米拠点は、これまでのKMMリンカーン工場、メアリービル工場に、汎用ガソリンエンジンを生産するブーンビル工場 (2022年稼働) を加え、今回設備を新設するKMXで4つの生産拠点となります。



### 車両 (川崎車両)

ニューヨーク市交通局向けでは2,200両を超える納入実績を有するカワサキ。2018年より受注を開始したR211は、オプションがすべて行使された場合は、生産総数1,612両、受注総額は約41億米ドル (約5,973億円) と、当社における過去最大規模の鉄道車両案件となり、今後、KMMリンカーン工場、およびKRCでの生産が活況を迎えます。

